

～世界観の広がった海外交流派遣研修～

七飯高等学校 2年 ^{みやがわ}宮川 ^{なぎさ}渚

たくさんの出会いと初めてのことばかりの貴重な体験をし、思い出のつまった 11 日間。言語や文化の違いから壁にぶつかることもあったけど、とても良い経験になりました。このような貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。

《1 日目》

コンコードへの出発の日。大きな期待と不安を抱え、いざアメリカへ。出国審査のときにランダムで何人かに 1 人という検査に引っかかるという貴重な体験をし、日本を出発しました。日付変更線を超え約 13 時間という人生初のフライトは、機内食や映画を楽しみながら過ごしたのであつという間でした。ボストン空港に着くと、ジュンコさんをはじめたくさんの人たちが出迎えてくれました。スクールバスに乗り、カーライル高校に行きホストファミリーと対面しました。その後、ホストファミリーの家でお土産を交換し合ったり、お互いのことを話したりと楽しい時間を過ごしました。

《2 日目》

朝早くに起き、ホストマザーの車で学校に向かいました。車の中では、私の好きなアーティストの曲をかけてくれて、一緒に歌いながら学校に行きました。カーライル高校では午前中に学校の見学をしました。カーライル高校はとても広く、校舎が新しくなってまだ 2 年目ということでもとてもきれいでした。また、ジムやラジオ局があつたりと、とても新鮮でした。昼食をカフェテリアで食べたのですが、全てがアメリカンサイズで大きかったです。午後は日本の文化紹介ということで茶道と折り紙を披露しました。抹茶を美味しいと飲んでくれてうれしかったです。

《3 日目》

朝、高校内にあるラジオ局でラジオを放送してきました。そこでは、日本の曲を紹介したり、天気予報を英語で読んだりしました。その後は、体育の授業に参加して、カーライル高校の生徒と一緒にアメリカと日本のドッジボールをしました。普段やっているドッジボールとは違い、たくさんボールがあつたり、バスケットゴールにボールをいれると復活するなどのルールはとても面白かったです。午後はセーラム市に散策に行きました。セーラム市は昔魔女狩りが行われたところで、その話を聞きました。とても悲しい話だったけど、2 度とそのような悲劇が繰り返されないように語り継いでいくことは大切だと思いました。

《4 日目》

午前中にハロウィンの買い物に行き、ホストファミリーのエマラと一緒に衣装を選びました。二人でヒーローになろうということで、私はキャプテンアメリカの衣装を、エマラはバッドマンの衣装を選びました。午後からはポットラックパーティーがあり、そこではいか踊

りを披露したり、一緒に食事を楽しんできました。その後はホストファミリーと一緒に、ボーリングとゲームセンターに行きました。ゲームセンターには日本のマリオカート、メダルゲーム、プリクラなどがあり、エマラと一緒に楽しみました。

《5日目》

この日は1日ホストファミリーと過ごす日で、大きい迷路があるテーマパークに行きました。その迷路はとても広く難しく、ゴールするまでに約2時間かかりました。テーマパークもアメリカンサイズだなと思いました。夜はハロウィンかぼちゃを作りました。とても大きいかぼちゃで中の実を取るのが大変だったけど、自分がかぼちゃの顔をデザインして掘ったりと、とても楽しかったです。



テーマパーク

《6日目》



作ったハロウィンかぼちゃ

この日は朝からオールドノースブリッジ、ハーバード大学、クインシーマーケットに行きました。オールドノースブリッジではアメリカ独立戦争の話聞いた後、実際にその橋を渡りました。ハーバード大学では、足を触ると頭がよくなるという言い伝えのある創立者のハーバード氏の銅像を触りました。夜はハロウィン当日ということで、仮装して本場のハロウィンを体験してきました。仮装はみんな完成度が高く、様々な種類がありました。また、七夕のように「トリックオアトリート」と言い、家を回ってたくさんお菓子をもらいました。

《7日目》

この日はコンコードで放送されているローカル番組、CCTV に出演してきました。初めてのテレビ出演で緊張しましたが、芸能人気分を味わえて楽しかったです。主に、今回の研修についてやアメリカと日本の違いについて聞かれ、しっかり答えることができ、よかったです。その後は若草物語の作者、ルイーザ・メイ・オルコットが住んでいたオーチャードハウスに行きました。そこに展示されている8割が実際に使われていたものということで、オルコットさんの生活していた雰囲気を体験してきました。また、そこでラッキーペニーを拾ったと思ったら、ユーロだったというのもいい思い出になりました。

《8日目》

この日はホストファミリーと国際交流員のクリスさんとお別れしました。一緒にいた一週間の思い出が溢れてきて、涙も溢れてきました。最後には、アメリカの「バイバイ」と日本の「さよなら」を掛け合わせた「バヨナラ」という恒例のあいさつをしてお別れしました。

そのあとはバスに4時間揺られ、ニューヨークに行きました。ロックフェラーセンターの展望台に上り、ニューヨークを一望してきました。高いビルが立ち並んでいて、さすが世界の中心だなと思いました。夜はタイムズスクエア周辺を散策し、ニューヨークの雰囲気を感じてきました。建物の明かりで夜も明るく、眠らない街というだけあり、夜もすごくにぎやかでした。

《9日目》

この日はずっと行きたかった自由の女神や9.11のメモリアルパーク、国連に行きました。自由の女神は想像していたものよりはるかに大きかったです。また、像の中に入れるということに驚きました。9.11メモリアルパークでは亡くなった方々ひとりひとりの名前が石碑に刻まれており、この事件の大きさを物語っていました。今回は、9.11記念博物館に行けなかったため、大人になったら行って自分の目で学んでこういう悲劇を忘れないように語り継いでいきたいなと思いました。国連では実際に会議が行われている場所を見たり、世界の情勢を学ぶことができました。



ハロウィンの様子



自由の女神と

《10日目》

朝早くニューヨークを出発し、JFK空港に向かいました。荷物が10キロ近く増えていて重量オーバーとなり、荷物を移し替えるのが大変でした。また、セキュリティーチェックがどこの空港よりも厳しかったです。無事出国審査を終えて、15時間かけて帰国しました。函館空港に着き、自分の住み慣れた街を見て安心し、久しぶりの家族との対面にホッとしました。

今回の研修は初めての経験ばかりで壁にぶつかることもありましたが、自分の世界観が広がり、とてもいい経験になりました。また色々なことに臨機応変に対応できるようになったような気がします。そして、本場の英語に触れてもっと自分の英語力を向上したいと思いました。今回このような体験をさせていただきほんとうにありがとうございました。この貴重な11日間は一生忘れません。